

各 位

武雄・杵島地区農業指導連絡協議会
杵島農業改良普及センター

「稲作情報（第5号）」について（送付）

このことについて、下記のとおり「稲作情報（第5号）」を送付しますので、業務の参考にしてください。この情報はホームページ（以下 URL）にも随時公開しています
https://www.pref.saga.lg.jp/ki_ji00323270/index.html

杵島農業改良普及センター

検索

1. 気象概況

アメダス観測値(白石)

月	半旬	平均気温			最高気温			最低気温			降水量			日照時間		
		平年 (°C)	R2 (°C)	平年差 (°C)	平年 (°C)	R2 (°C)	平年差 (°C)	平年 (°C)	R2 (°C)	平年差 (°C)	平年 (mm)	R2 (mm)	平年比 (%)	平年 (hr)	R2 (hr)	平年比 (%)
5月	1	17.4	20.1	2.7	23.5	25.8	2.3	11.8	15.9	4.1	31.5	49.5	157	29.6	31.8	107
	2	18.1	19.5	1.4	24.2	25.1	0.9	12.6	14.5	1.9	33.3	13.0	39	29.7	37.8	127
	3	18.5	19.1	0.6	24.7	25.5	0.8	13.0	12.8	-0.2	33.4	37.0	111	30.0	45.9	153
	4	18.9	20.4	1.5	25.1	23.9	-1.2	13.4	17.4	4.0	28.9	42.0	145	30.2	26.1	86
	5	19.6	20.6	1.0	25.9	27.6	1.7	14.1	14.5	0.4	23.1	0.0	0	31.0	47.8	154
	6	20.5	21.0	0.5	26.8	26.8	0.0	15.1	15.6	0.5	26.8	2.5	9	37.6	37.3	99

5月6半旬の気温は、平年に比べて0.5 ほど高く少雨曇天傾向であった。

福岡管区気象台の週間天気予報（6月3日発表）(予報期間 6月4日から6月10日まで)

向こう一週間は、高気圧に覆われて晴れる日が多いですが、期間の終わりは湿った空気の影響で雲が広がりやすいでしょう。

最高気温と最低気温はともに、平年より高い日が多く、平年よりかなり高い所もあるでしょう

2. 水稻情報田の生育状況（調査日：6月3日）

項目 品種	年 次	草 丈 cm	茎数 本 / m ²	主 稈 出葉数 L	葉色 SPAD	概 要
コシヒカリ	本 年 値	5 2 . 1	6 5 7	1 1 . 3	4 0 . 4	<ul style="list-style-type: none"> ・草丈は平年に比べ低く、茎数は平年並み。 ・主稈出葉数は平年より0.2葉多い。葉色は平年並み。 ・幼穂長 0.1mm程度 節間長 5mm程度
	平 年 値	5 5 . 3	6 4 8	1 1 . 1	4 0 . 8	
	平年比(差)	9 4	1 0 1	+ 0 . 2	- 0 . 4	

平年値は、H21～31年度の平均値

耕種概要は稲作情報 NO 1 参照

（管内の生育状況）

現在、生育ステージは、穂首分化期～幼穂形成始期直前を迎えている。

○葉色は、好天で低下している（圃場の葉色のムラが散見される）

高温多日照条件で葉色低下が大きくなっている状況は好ましいが、過剰分けつ傾向で茎の細化が懸念される。

○葉色が濃く旺盛な生育圃場において、葉いもち病斑（停止型）を確認した。

3. 今後の管理

(1) 水管理

- ・「コシヒカリ」は、まもなく幼穂形成始期となります。
幼穂形成期から出穂期にかけては要水量が増加する時期ですが、湛水を長く行くと根を傷めるので、**引き続き間断灌水を行ってください。**
- ・現在土壌が柔らかい圃場では、土壌をある程度固めることが必要です。
土壌の硬さは「歩いて足跡が付くが抵抗なく歩ける程度」が理想。
ただし、幼穂形成期以降に、手のひらが縦にはいるようなヒビ(土壌表面が白乾状態になる)は、強い断根を伴い稲にとってダメ-ジが大きくなるので行わないように。
- ・降雨が連続する場合は、排水口は落水状態で管理する。

(2) 肥培管理

情報田の生育状況から判断すると、出穂前28日頃と推定されますが、圃場によりいくらかのバラツキはあります。

穂肥施用の目安は、**幼穂長15mm**の時(出穂前18日頃)に**群落葉色が3.3~3.7程度(36.0~39.5)**まで低下したら、**ゴールド有機50を10kg/10a**施用します。

必ず穂肥診断を行い、幼穂長と葉色の状況を確認し下記の葉色診断基準を参考にしてください。

ただし、いもちの病斑が上位3葉以内にある圃場では、穂肥で窒素濃度が高まり降雨が続くと、「いもち病」の好適発生条件となるため、穂肥施用量は減ずる。

表1 コシヒカリの出穂前日数と幼穂長の関係

出穂前日数	26	23	20	18	15	12
幼穂形成始期からの日数	0日	0~3日	3~6日	6~8日	8~11日	11~14日
幼穂長(mm)	1mm	1~3mm	8~12mm	15~20mm	25~30mm	30mm以上
草丈(cm)	~72cm	~75cm	~78cm	~80cm	~83cm	~
穂肥の施用時期				←→		

例) 幼穂長15~20mmの時(出穂前18日頃)が穂肥施用時期であるため、穂肥診断した時の**幼穂長が1mmの場合、その5日後に穂肥を施用する。**

【穂肥診断の方法】

- ① 幼穂形成始期頃の草丈を測る。
 - ② 葉色(群落・SPAD値)を測る。
 - ③ 上記①②の測定値を診断指標に当てはめ、施用量を確認する。
 - ④ 施用量が確認できたら、記載された施用時期に穂肥を施用できるよう準備する。
- ※穂肥施用できるのは、葉色が「笹の葉色以下(3.5以下)」になってからである。**

表2 穂肥診断基準

	葉色	葉色板		SPAD(値)	幼穂長(mm)	草丈(cm)	施用量 <ゴールド有機50>
		群落	単葉				
穂肥施用時	淡い	3.0以下	3.5以下	34.0以下	2	75まで	15Kg/10a
		3.0~3.3	3.5~3.8	34.0~36.0	5	78まで	
	標準	3.3~3.7	3.8~4.2	36.0~39.5	15	80まで	10Kg/10a
	濃い	3.7以上	4.2以上	39.5以上	15	80以上	施用しない!

例) 穂肥施用時期の**葉色(SPAD)が36.0~39.5、草丈が80cm以下**であれば、**ゴールド有機50を10kg/10a**施用する。

(3) その他

斑点米カメムシによる被害を軽減するために畦畔雑草の除草を水稻の出穂前までに終わらせましょう。

畦畔雑草には、すでにホソハリカメムシおよびアカスジカスミカメを確認している。

○最近の曇天で補植苗にいもち病（褐点型・停止型）を確認したので、今後曇天が続く場合は「いもち病」に要注意である。

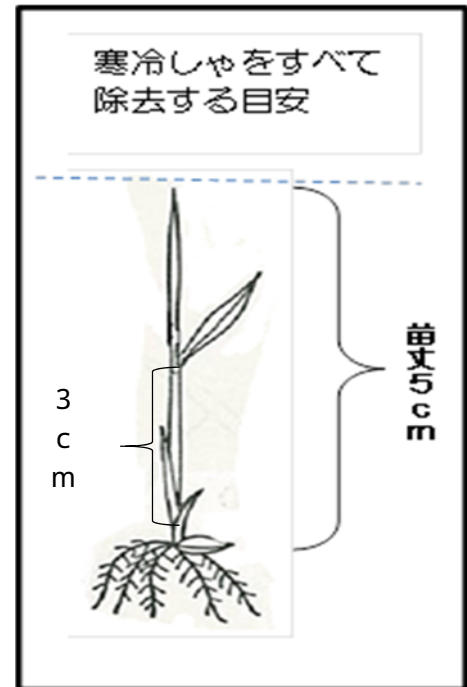
5. 普通期水稻の育苗管理

（「さがびより」を中心）

「さがびより」は、苗が伸長しやすいのでラプシートの除去を早めに行い健苗育苗を行いましょう。

地際からの高さが5 cm程度、第1葉鞘高が3 cmになると被覆資材（寒冷しゃ）をすべて除去しましょう。

麦わらすき込みなど有機物施用を行った圃場では、ガスのわきが予想されるので、初期生育を促進するため、移植前日に窒素成分で0.5 g ~ 1 g /箱の弁当肥を施用しましょう。



「七夕コシヒカリ」は特別栽培農産物の認証を受けるためにも、農薬成分回数9成分を超えないように注意しましょう！

☆☆七夕コシヒカリ栽培暦に載っていない薬剤を使用する場合は、必ず指導機関に相談して行うこと！！☆☆